

SBIインド & ベトナム株ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第16期(決算日:2015年6月4日)

作成対象期間(2014年12月5日～2015年6月4日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2015年6月4日に第16期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第16期末(2015年6月4日)

基準価額	8,824円
純資産総額	10,390百万円
第16期	
騰落率	△1.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の 9:00～17:00

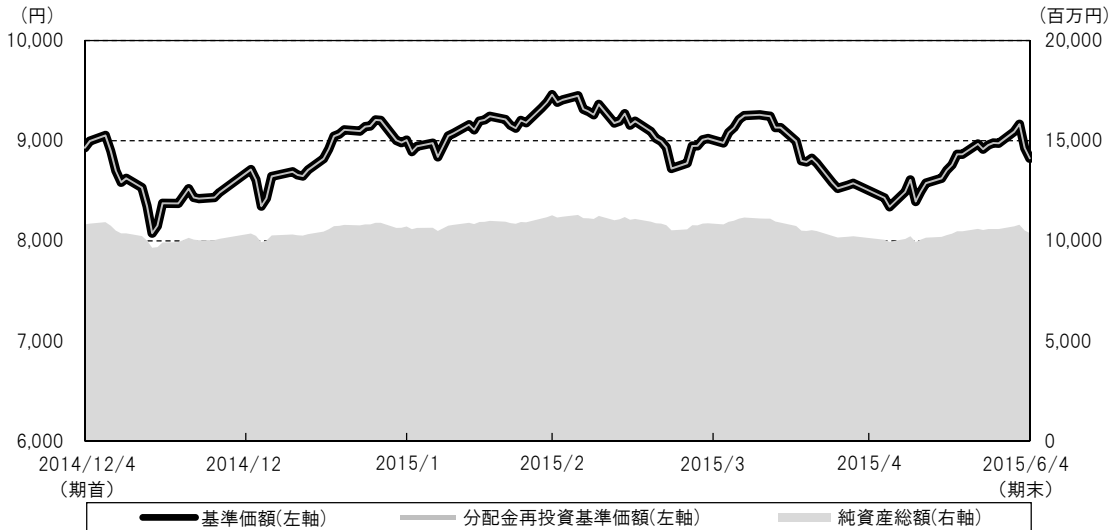
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2014年12月5日～2015年6月4日)



期 首:8,929 円
 期 末:8,824 円(既払分配金(税込み):0 円)
 騰 落 率:△ 1.2%(分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2014年12月4日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の変動要因

当期の基準価額は、インド株式市場の下落などを受けて、下落しました。当ファンドの基準価額は、原油相場の急落に伴い投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどにより、12月17日に当期の最安値である8,077円をつけた後、インド準備銀行による利下げなどが好感され、インド株式市場が過去最高値を更新するなど大きく上昇したことから、3月4日には当期の最高値である9,460円をつけました。しかし、その後は、高値警戒感から利益確定売りが優勢となったことや通貨インドルピーが下落したことなどから、当ファンドの基準価額はやや下落基調で推移しました。5月下旬以降は、インド準備銀行による追加利下げへの期待感からインド株式市場が上昇したことや、通貨インドルピーの上昇などにより、当ファンドの基準価額は上昇しましたが、期末にかけては再び下落基調に転じ、当期末の基準価額は8,824円となりました。当期の騰落率は△1.2%の下落となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2014年12月5日～2015年6月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 96 (58) (34) (4)	% 1.077 (0.657) (0.377) (0.043)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	6 (6)	0.066 (0.066)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.030 (0.030)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	26 (7) (1) (18)	0.288 (0.078) (0.010) (0.200)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他費用は、インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等
合 計	131	1.461	
期中の平均基準価額は8,890円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

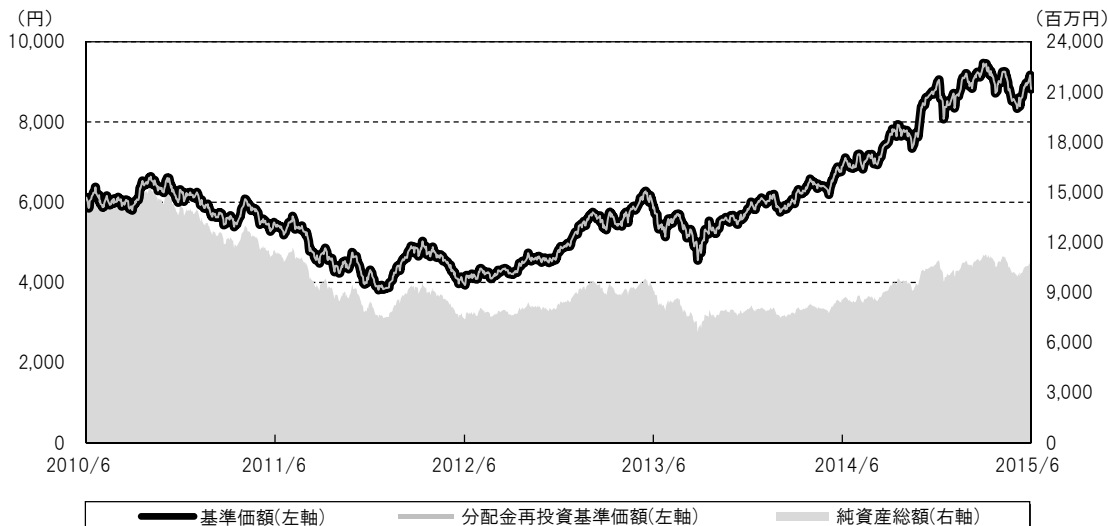
(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年6月4日～2015年6月4日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2010年6月4日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年6月4日 決算日	2011年6月6日 決算日	2012年6月4日 決算日	2013年6月4日 決算日	2014年6月4日 決算日	2015年6月4日 決算日
基準価額 (円)	6,118	5,388	3,953	5,843	6,892	8,824
期間分配金合計(税込み) (円)	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	8.0	△ 11.9	△ 26.6	47.8	18.0	28.0
SENSEX 指数騰落率 (%)	11.2	△ 3.3	△ 31.8	53.1	24.6	21.6
VN 指数騰落率 (%)	1.1	△ 32.3	△ 8.9	55.7	10.7	22.4
純資産総額 (百万円)	14,657	11,308	7,418	9,077	8,574	10,390

(注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として、インドでは SENSEX 指数^{*}、ベトナムでは VN 指数^{*}を記載しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

※各指数は円建て

●代表的な指数に関して

- ・SENSEX 指数は、インドのムンバイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する 30 銘柄で構成された時価総額加重平均指数のことで、インド株式市場の代表的な株価指数です。
- ・VN 指数は、ベトナムの最大都市ホーチミンにあるホーチミン証券取引所に上場の全銘柄から構成される時価総額加重平均指数のことで、ベトナム株式市場の代表的な株価指数です。

投資環境

(2014年12月5日～2015年6月4日)

○インド株式市場

(2014年12月)

・外国人投資家が売り越しに転じ、幅広いセクターで利益確定売りが広がったことから、概ね軟調に推移しました。

(2015年1月)

・原油相場の大幅下落を好感して上昇基調が継続し、連日で過去最高値を更新する展開となりました。

(2月)

・外国人投資家の買い越し基調が継続したことにより、底堅く推移しましたが、月末の来年度予算案の発表を控えて投資家は様子見姿勢となりました。

(3月)

・上旬はインド準備銀行の利下げを好感して過去最高値を更新したものの、高値警戒感や原油相場の乱高下を受けて、月末にかけて下落基調が継続しました。

(4月)

・インド企業の業績見通しを見極めたいとの思惑から、売りが優勢となり、中旬以降は下落基調を強める展開となりました。

(5月)

・原油相場の反発基調やモンスーン(雨季)の少雨が懸念され、揉み合い相場となったものの、月末にかけては回復基調となりました。

○ベトナム株式市場

(2014年12月)

・原油安を受けて石油・ガス関連銘柄を中心に売りが優勢となりましたが、月末にかけてやや反発しました。

(2015年1月)

・前月の大幅安の反動から石油関連や金融セクターなどが買われ、月を通じて概ね上昇基調で推移しました。

(2月)

・中旬にかけては軟調に推移したものの、旧正月明けに上昇に転じた後は、金融・不動産セクターなどが相場の上昇を主導し、堅調な展開となりました。

(3月)

・外国人投資家の売り越し基調が継続したことから、大型株を中心に軟調に推移となり、月を通じて概ね下落する展開となりました。

(4月)

・原油相場の底打ちを背景に外国人投資家が買い越しに転じたことから、中旬以降は回復基調が継続し、月末にかけても底堅く推移しました。

(5月)

・下旬にかけてベトナムと中国の南シナ海での領有権問題を嫌気して下落幅を広げたものの、外国人投資家が買い越しに転じ、月末にかけては戻り基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2014年12月5日～2015年6月4日)

当ファンドは、2007年7月25日に設定され、2015年6月4日に第16期決算を迎えました。

当ファンドは、「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行っております。

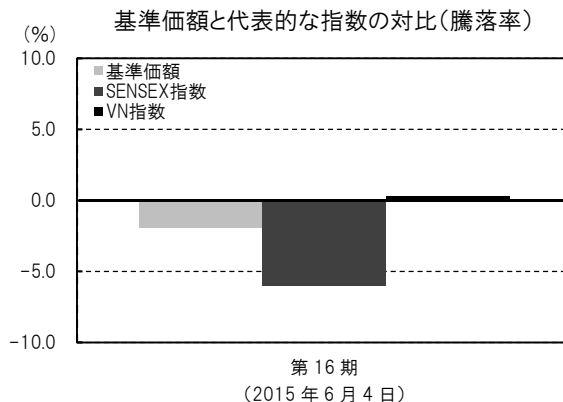
当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年12月5日～2015年6月4日)

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドでは SENSEX 指数[※]、ベトナムでは VN 指数[※]を記載しております。

※各指数は円建て



分配金

(2014年12月5日～2015年6月4日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 16 期
	2014年12月5日～ 2015年6月4日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	389

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

○インド株

直近で発表された世界銀行の経済成長見通しによると、インドのGDP成長率は2015年度以降、主要国の中で最も高くなる見込みです。また、モディ政権は成長率を押し上げるためにインフラ投資を加速させる政策を実施していく方針です。こうした状況を踏まえると、2015年3月上旬以降に調整局面を迎えたインド株式市場は、短期的には様々な要因の影響を受けながらも、中長期的には上昇基調が継続する可能性が高いと考えています。

以上の見通しにより、インド株については、各マザーファンドの受益証券の組み入れを通じ、ポートフォリオの80%前後の比率を目標として運用する方針です。

○ベトナム株

ベトナム経済は、製造業購買担当者景気指数や消費者信頼感指数が堅調に推移するなど、依然として景気の回復基調が継続しています。直近で実施された通貨ドンの切り下げについても、輸出競争力の拡大などを通じてベトナム経済にプラスに寄与することが見込まれます。また、ベトナム株式市場は、ボックス圏で推移するレンジ相場が続いていますが、好調なベトナム経済を背景に、中長期的には緩やかな上昇基調が継続すると見込まれます。

以上の見通しにより、ベトナム株については、ポートフォリオの12~15%程度の比率を維持して運用する方針です。

お知らせ

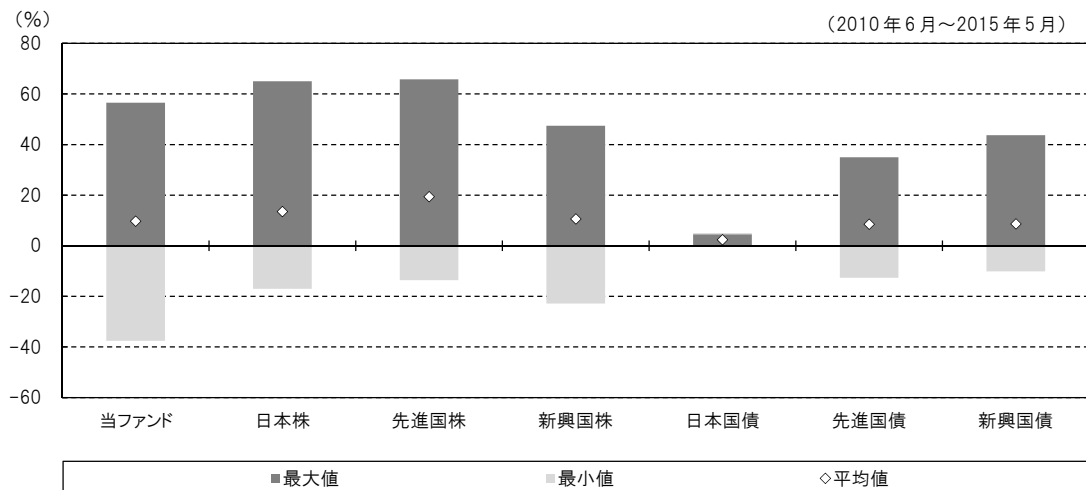
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(クローズド期間はありません)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
	ロイド・ジョージ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・ マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
当ファンドの 運用方法	各マザーファンドを通じて主にインド及びベトナムの株式に投資を行います。マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。ベトナム株への実質的な投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産において、原則為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△37.5	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	9.7	13.6	19.4	10.6	2.4	8.5	8.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2010年6月から2015年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCI KOKUSAI(コクサイ)・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI 国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債:JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

* 代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年6月4日現在)

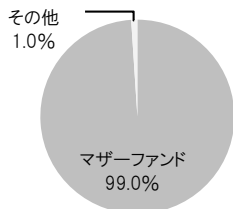
○組入上位ファンド

銘柄名	第16期末
	%
ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド	35.2
ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド	34.8
SBIAM インド株・マザーファンド	12.8
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	16.2
組入銘柄数	4銘柄

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

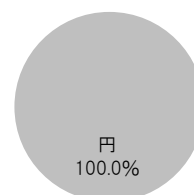
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第16期末
	2015年6月4日
純資産総額	10,390,307,829円
受益権総口数	11,775,023,467口
1万口当たり基準価額	8,824円

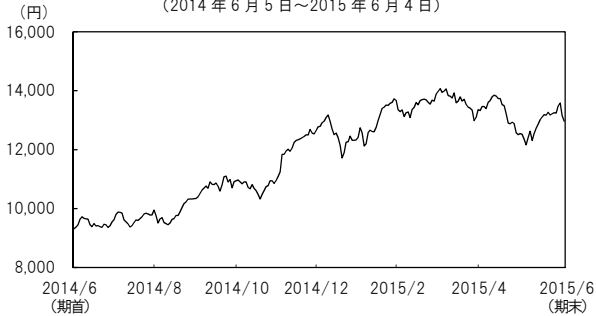
(注) 当ファンドの期首元本額は12,114,635,693円、期中追加設定元本額は1,738,643,900円、期中一部解約元本額は2,078,256,126円です。

組入上位ファンドの概要

ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	21 (21)	0.172 (0.172)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	10 (10)	0.081 (0.081)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	16 (16) (0)	0.131 (0.131) (0.000)
合計	47	0.384

期中の平均基準価額は、11,950円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2015年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	5.4%
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	5.3%
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	4.9%
HDFC	銀行	インドルピー	インド	4.8%
イェス銀行	銀行	インドルピー	インド	4.0%
ユナイテッド・スピリッツ	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	3.9%
ウルトラテック・セメント	素材	インドルピー	インド	3.7%
マヒンドラ・マヒンドラ・ファイナンシャル・サービス	各種金融	インドルピー	インド	3.5%
ピディライト・インダストリーズ	素材	インドルピー	インド	3.5%
エマミ	家庭用品・パーソナル用品	インドルピー	インド	3.4%
組入銘柄数	34 銘柄			

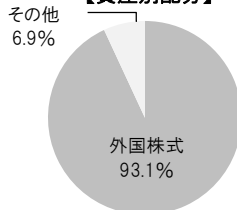
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

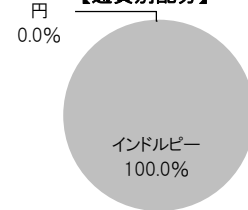
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2015 年 6 月 4 日現在のものです。

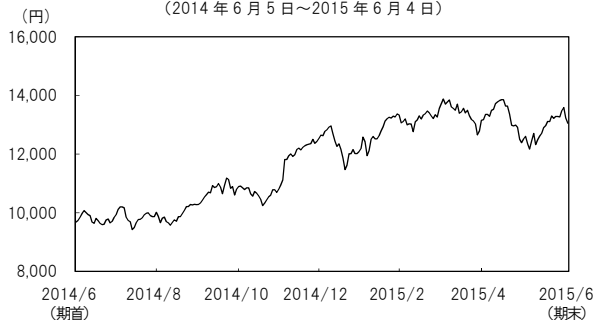
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 35 (35)	% 0.292 (0.292)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	29 (29)	0.244 (0.244)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	282 (31) (251)	2.376 (0.259) (2.117)
合 計	346	2.912

期中の平均基準価額は、11,857円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2015年6月4日現在)

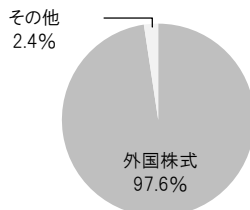
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	9.4%
タタ・コンサルタンシー・サービシズ	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	7.1
リアリانس・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	6.2
HDFC	銀行	インドルピー	インド	5.3
ブリタニア・インダストリーズ	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	4.1
サン・ファーマシューティカル	医薬品他	インドルピー	インド	3.8
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	2.8
インドステイト銀行	銀行	インドルピー	インド	2.8
ラーセン&トププロ	資本財	インドルピー	インド	2.8
HCLテクノロジーズ	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	2.7
組入銘柄数	52 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

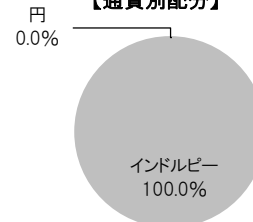
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2015 年 6 月 4 日現在のものです。

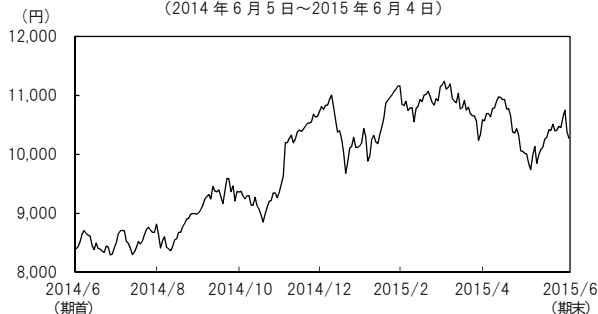
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7 (7)	% (0.068)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	3 (3)	0.034 (0.034)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	20 (20)	0.200 (0.200)
合 計	30	0.302

期中の平均基準価額は、9,933円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2015年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	8.4%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	8.4
HDFC	銀行	インドルピー	インド	8.0
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	7.2
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	7.2
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	6.3
ラーセン&トップロ	資本財	インドルピー	インド	5.9
タタ・コンサルタンシー・サービシズ	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	5.7
アクシス銀行	銀行	インドルピー	インド	4.1
サン・ファーマシューティカル	医薬品他	インドルピー	インド	4.0
組入銘柄数	30 銘柄			

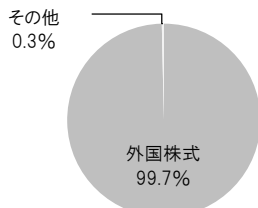
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC 銀行は HDFC のグループ企業です。

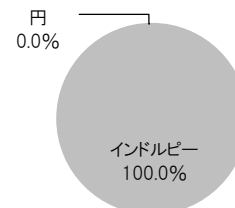
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2015 年 6 月 4 日現在のものです。

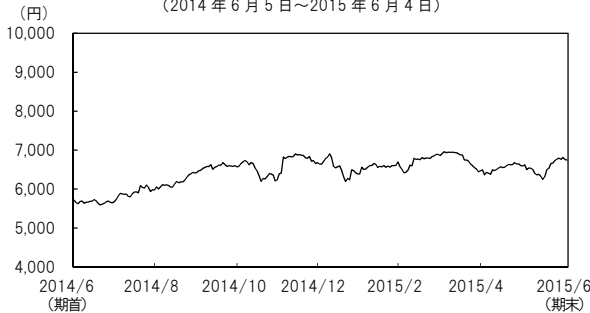
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM ベトナム株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月5日～2015年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月5日～2015年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	6 (6)	0.089 (0.089)%
(b) その他費用 (保管費用)	7 (7)	0.110 (0.110)%
合計	13	0.199

期中の平均基準価額は、6,463円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2015年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	米ドル	ベトナム	29.3%
FPTコーポレーション	ソフトウェア・サービス	米ドル	ベトナム	8.0
ベトロベトナム・ドリンク	エネルギー	米ドル	ベトナム	5.5
マサングループ	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	5.5
ホアファットグループ	素材	米ドル	ベトナム	5.3
ピンググループ	不動産	ベトナムドン	ベトナム	5.3
ハウザン製菓	医薬品他	米ドル	ベトナム	4.0
ベトコムバンク	銀行	米ドル/ベトナムドン	ベトナム	3.8
サイゴン証券	各種金融	米ドル	ベトナム	3.4
ダナン・ゴム	自動車・自動車部品	米ドル	ベトナム	3.2
組入銘柄数	21銘柄			

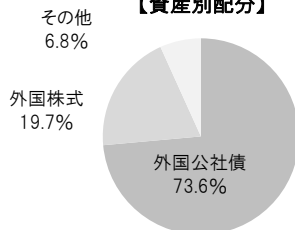
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

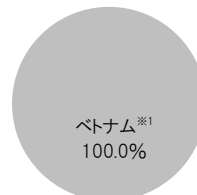
(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※ ベトコムバンクは、株価連動債と株式で保有しております。

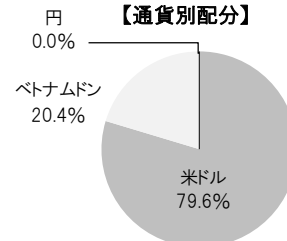
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2015年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

※1 ベトナムの株式と、ルクセンブルグで発行されているベトナムの株価連動債に投資しております。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等＞

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。